

# 有人航空機・無人航空機の 運航調和にむけた意見交換会

## 低高度運航 ヘリコプター各作業の紹介

朝日航洋株式会社  
エアモビリティ事業部 沓澤 潤



## Aviation 航空事業

**ビジネスジェット運航**  
国内・国際  
チャーター運航

**旅客輸送**  
ヘリコプター  
による旅客輸送

**ドクターヘリ運航**  
救急医療搬送

**報道・防災**  
報道取材、CM・  
ドラマ、映画撮影  
各都道府県防災ヘリ運航

**その他  
航空サービス**  
遊覧飛行、資材輸送、農林関係、  
調査空撮、受託運航、航空機整備  
訓練、ヘリポートコンサルティング

**防災 コンサルティング**  
調査、計画、設計、管理

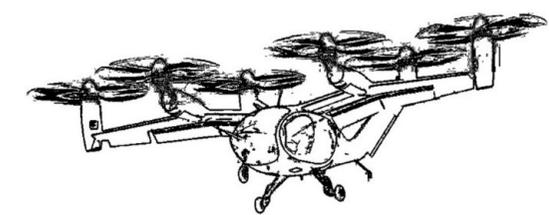
**測量・計測**  
GPS測量、超高精度測量、  
デジタル写真測量、海底地形測量

**リモートセンシング**  
レーザー計測、空中ハイビジョン計測、  
3次元データベース

**固定資産評価**  
土地評価・現況調査業務

**GIS**  
システムコンサルティング・開発・運用、  
空間データベース

## Spatial Information 空間情報事業

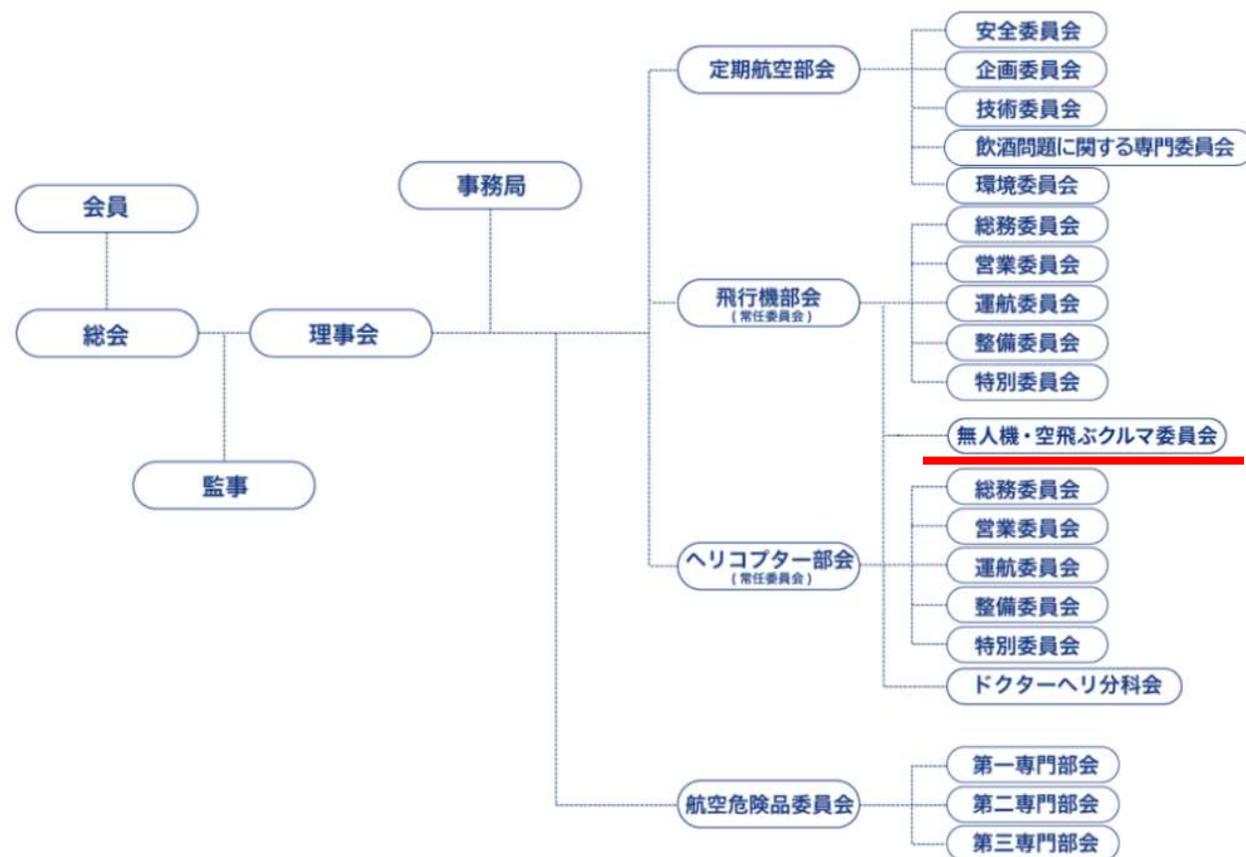


## Air mobility

**エアモビリティ事業**  
空飛ぶクルマ、UAV計測、  
安全運航関連ビジネス

# 全航連：無人機・空飛ぶクルマ委員会

## 全日本航空事業連合会(全航連) 組織図



2022年12月発足

# ジェネラルアビエーション

AERO ASAHI CORPORATION

Air-Mobility Div.



物資輸送



海洋開発支援



送電線巡視



報道/航空写真撮影



ドクターヘリ



旅客輸送

# ジェネラルアビエーション

AERO ASAHI CORPORATION

Air-Mobility Div.

## 物資輸送



# ジェネラルアビエーション

AERO ASAHI CORPORATION

Air-Mobility Div.

## 海洋開発支援(オフショア)

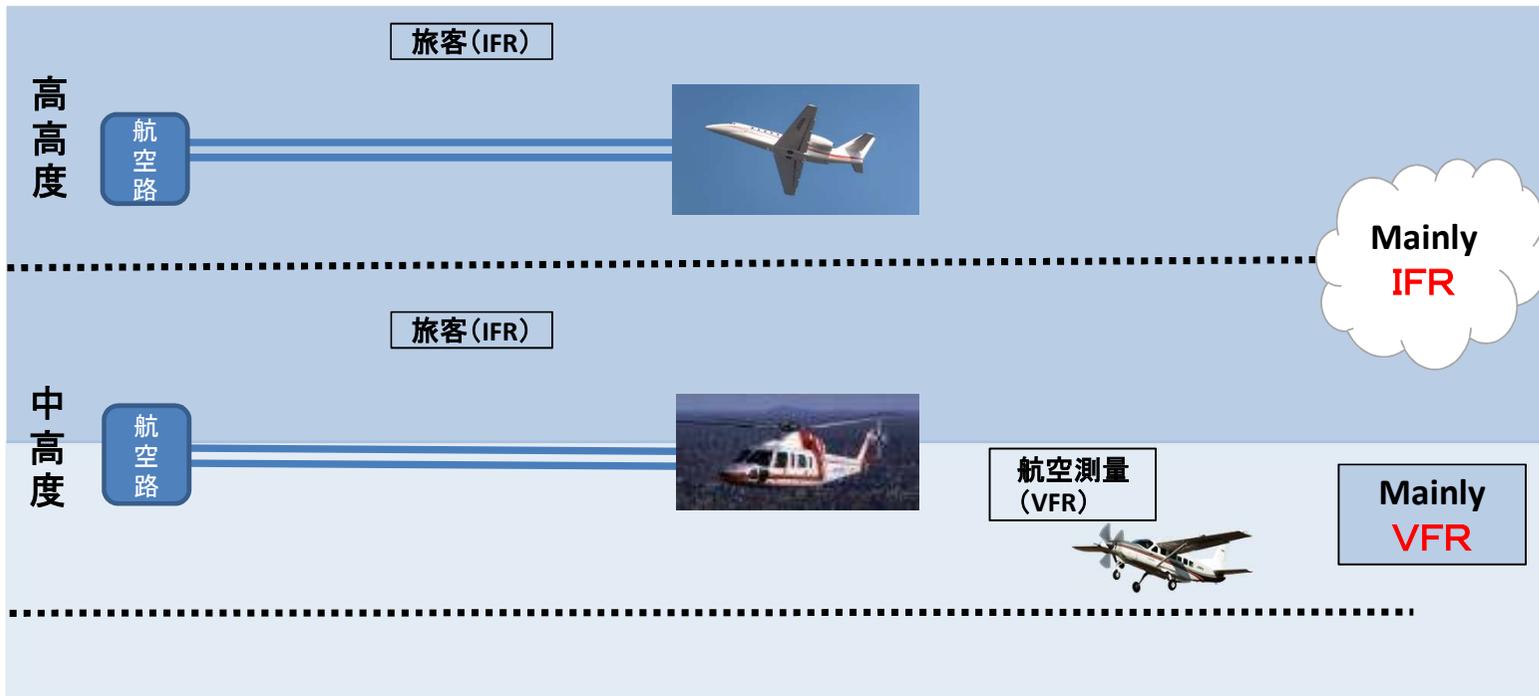


- 作業員・研究員の人員輸送
- 物資(食料・医療など)



# 物資輸送

# 各高度イメージ



ヘリコプターは高い高度を飛行することが苦手な航空機  
 ①ヘリコプターは与圧キャビンがありません。

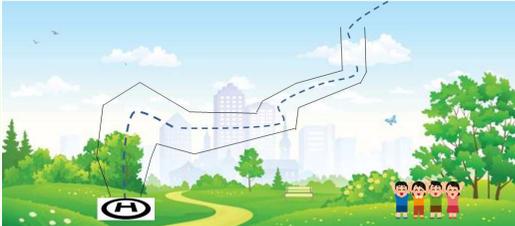
②日本上空は偏西風が強い。

③凍結防止装置がありません。

④空気密度が低いと速度性能が低下してしまいます。



# 低高度航空路を求めていきたい

Instrument Flight Rules 『計器飛行方式』 <b>IFR</b>	<b>VFR</b> Visual Flight Rules 『有視界飛行方式』
管制を受けて他の航空機との間隔が調整される	他機との間隔は目視の見張りで確認する
飛行経路(ルート)が定まっており、 地上物件との間隔が確保されている	地上物件との距離は、目視により確保し飛行する
離着陸の最低気象条件を満たし飛行する	有視界気象状態を保ち飛行する 1.5~5km※視程を確保する 雲から離れて飛行する必要有 雲と機体の相対位置で雲~600m※離れる
低高度の航空路が極めて少なく、設定されているものは消防・防災用である。 利用者の利便の増進されるところに低高度ルートを設定して欲しい。	

# ヘリコプターの社会的割合

- アメリカ

- 小型飛行機: 170,000機
- ヘリコプター: 4,500機

アメリカのヘリコプター割合 3%

- 日本

- 小型飛行機: 1,200機  
(210機:全航連)
- ヘリコプター: 1,000機

(350機:全航連) + (50機:その他) = 400機: 事業関連の機体

日本のヘリコプター割合 18%

# 能登半島地震 関連の運航について

令和6年1月1日～2月8日

以下のようなミッションのヘリコプター運航を行いました。

■電力会社の運航(鉄塔・送電線・設備点検)	72時間
■作業員輸送	33時間
■調査飛行(災害等調査)	30時間
■物資輸送	8時間
■写真や映像の撮影	2時間
■報道関連	

145時間

※報道は含めず

報道機体の制限や燃料を給油する場所が限られたため、その飛行目的と天候や給油地を見極め運航可否の判断を行い、北陸3県を主に上記以外の県外の要望・要請にも応じ、ミッションを行いました。